

レジ袋削減に向けた取組みに関する協定

株式会社ダイエーと、協定参加市民団体（以下、市民団体という）及び札幌市は、循環型社会の実現と地域環境の保全を図ることを目的として、レジ袋の使用削減及びマイバッグの持参率の向上を図る取組みを協働して推進します。

- 1 株式会社ダイエーは、マイバッグ等の持参率を80%以上とすることを目標として、札幌市内の5店舗（琴似店、新さっぽろ店、麻生店、東札幌店、栄町店）の食品売場レジにて、平成20年10月1日からレジ袋の配布サービスを行わず、1枚5円（税込）で販売し、その削減に取り組みます。
- 2 株式会社ダイエーは、上記店舗で販売したレジ袋の販売収益を環境保全活動や地域貢献活動などに還元し、その内容を公表いたします。尚、販売収益とはレジ袋販売代金からレジ袋の原価及び消費税、必要経費を差し引いたものです。
- 3 株式会社ダイエーは、上記店舗のレジ袋の削減を図る活動状況及び目標数値を公表します。
- 4 市民団体は、マイバッグ等の持参によるレジ袋の削減を市民に呼びかけ、行動を拡大します。また、株式会社ダイエーにおけるレジ袋の配布サービス中止によるレジ袋削減の取組みを積極的に支援します。
- 5 株式会社ダイエー及び札幌市は、上記店舗におけるレジ袋削減の活動について、協議のうえ、連携しながら効果的なPRを行います。
- 6 札幌市は、この協定の取組みを通して、循環型社会の実現と地域環境の保全を図る取組みをより一層推進します。
- 7 この協定に疑義が生じたときは、当事者で別途協議し、定めることとします。

平成20年9月3日

株式会社ダイエー
北海道販売本部長 藤原 順治

【市民団体】

NPO 法人 環境り・ふれんず
代表理事 浅田 琉璃子

循環ネットワーク北海道
代表 神山 桂一

社団法人札幌消費者協会
会長 渋谷 絢子

札幌友の会
総リーダー 深澤 美佐子

札幌第二友の会
総リーダー 桂島 礼子

札幌第三友の会
総リーダー 佐藤 由紀代

NPO 法人 日本リサイクルネットワーク
代表 小玉 豊治

札幌市
市長 上田 文雄